

階層別選択研修（共同）

研修名	中級【業務改善分野】	受講者の声		
	問題発見の目を養う ～現場を歩けば見えてくる！ 問題発見から政策立案へ～	政策形成のプロセスを学び、実際に現地調査をすることで、新たな気づきや発見があり充実した研修でした。人により着眼点が異なり、様々な視点から多様な意見が生まれるので、多数の政策案を提案できました。		
講師	一般社団法人 日本経営協会 ますだ かつゆき 増田 勝之	期 間	3日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県20人・市町村20人	
ねらい	政策形成過程の第一歩であり、地域のニーズや特性に即した政策づくりを行っていくために必要な能力である「問題発見の目」を養います。 ①仮説を立て、②現地調査をし、③調査結果の分析から、④政策を立案するという、政策形成のプロセスを学ぶことで、政策形成能力の向上を図ります。			
対象者	【県】 次のいずれかに該当する職員 ・平成31年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和3年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和4年4月1日現在25歳以上の職員 【市町村】 主任級以下の職員			
実施日	9月28日（水）、29日（木）、30日（金）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	講義 グループワーク	6	25	・政策形成に関する基礎的な考え方やプロセスを学ぶ ・問題発見に効果的な視点や手法について、講義と演習を交えて学ぶ
2日 9:00 ～ 16:30	現地調査の準備 現地調査 調査結果の整理・分析 政策案の立案	6	30	・現地調査を行うにあたって、現地の問題点を考え、調査事項を決定する ・個人で現地調査を行う ・現地調査の結果を踏まえ、グループで各種手法により問題の分析・構造化を行い、政策課題を設定し、政策案を作成する
	政策案の立案 発表資料の作成 発表会	6	25	・現地調査の結果を踏まえ、グループで各種手法により問題の分析・構造化を行い、政策課題を設定し、政策案を作成する ・パワーポイントやワードを使って発表資料を作成し、発表の準備をする ・政策案を発表する ・発表に関する講評とまとめ
	講義の振り返り等	0	05	アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.131） ・事前課題と研修効果確認レポートがあります。 ・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。 ※参考：通信教育講座の業務改善分野に関連する講座があります。			